

椿キッズ

We are Tsubaki-kids.

第44号

鈴鹿市立椿小学校
Tel. 059-371-1014

令和4年2月4日

様々な状況に合わせた授業スタイルの工夫をしています！！



オンライン学習との併用

冬の真ただ中、体調を崩す子どもたちや、感染率の急増による心配から大事をとってお休みする子どもたちが増えています。学校へ登校する子、家で課題に取り組む子、オンラインで学校の授業を感じながら自宅学習する子と、スタイルは様々です。5年生の学年閉鎖もあり、本当にいろいろご心配をおかけしますが、学校はこれまでと変わらず、感染症対策を講じながら、子どもたちにあった学習スタイルを工夫していきます。行事の延期や、接触



音楽は、鑑賞や打楽器中心で

の機会や密になりやすい実技の一部を避けて、普段通りを少し強化した学校生活を送っていますので、「正しく恐れる」を基本に、今後もやるべきことを徹底して過ごしていきたいと思えます。ご家庭でも、この機会に、いたわりや助け合いの気持ち、あるいは場面に合わせた思いやりある具体的な人とのかかわり方をお子さんに示していただけたらと思います。

学び合いを通して「わかった」「できた」が実感できる授業に・・・

これが椿小学校の今年度のテーマです。ご家庭でもお子さんの学習を支援していただいておりますが、まっさらな子どもに勉強を教えることはとても難しいです。どの子にも授業の中で達成感を持つことができるような授業づくりを目指し、校内で授業改善の研修を行ってきました。その振り返りの時期となりました。



1月27日(木)には、1年生の算数の研究授業をおこないました。年に1回は自分の授業を見てもらい、協議する研修をおこなっています。この日は1年生の算数でした『お正月のスーパーのレジに並んだ綿江先生の前に4人います。先生の後ろに3人います。全部で何人いますか。』という問題です。問題文の数字だけの



教員同士の授業参観

足し算ではできません。綿江先生の存在に気づくかどうか、1年生にはとても難しいことです。そして、おはじきで数える⇒○を描いて図にして表す⇒帯にして表す⇒数直線の中で位置として捉えるという学習の流れの最初の部分にあたります。実際に並んでみて…丸を描いて…授業の後半で綿江先生の「1」の存在に気づいた子どもたちですが、式を立てて説明ができるまでにはあと一息です。

算数は、特に苦手意識が出やすい教科でもあり、生活体験と結びつけ、楽しみながら学ぶことができるように手立てを考えていきたいと思っています。

待ってました？今年も椿小に鬼あらわる！！



邪気を払い無病息災を願う行事「節分」。2月3日（木）椿小学校には恒例の赤鬼が出ました。子どもたちは一瞬ドッキリしましたが、「打田先生や〜」とマントを引っ張ったりして、とてもフレンドリー。

6年生は「わ〜鬼や〜っ！！」と怖がる大人への対応をしていました。（笑）

すでに椿大神社から、中止となった豆まきの大豆をいただいていたが、この日は給食にも「節分汁」（大豆入りみそ汁）が出ました。コロナ禍であっても、ちょっとしたユーモアや季節行事の風情を感じるゆとりは大切です。



続々と鬼に寄ってくる子どもたち

◆◇1年生「昔の遊び」いよいよ『こま回し』に挑戦！！



ひも巻きを助けてもらいます

2月1日（火）に、1年生の生活科で学んでいる「昔の遊び」の3弾として、体育館で「こま回し」の体験を行いました。感染症拡大防止の厳戒態勢の中、ボランティアさんにもお断りのお願いをさせていただきましたが、やはり、これは本物を見ないとわからない体験であるため、地域の方数人になんとかお願いをして、お手本を見せていただきました。幼稚園でやったことがあるという子もいましたが、ひもをこまに巻き付けるところから難しく、こまの持ち方、投げ方、

ひもの引き方など、コツをつかむまでに修業がいりそうでした。それでも数人は、数回に1回程度できるようになったので、驚きです。子どもは感覚で覚える事ができるので、上達も早いです。「子どもだからできないだろう」と大人が思っていることで、実は容易にできてしまうこともたくさんあります。できる子どもできない子も、地域の方と一緒に、とても楽しんで活動していました。



保護者の皆さまへお願い

学校内では重要度や最適な時期や周囲の感染状況によって、行事を行うか中止するか延期するかの判断を、柔軟に考えていきたいと思っております。

また、ボランティアさんに関しては、決して無理をしない程度に、入っていただけたらお願いしようと思っております。

ご家族や職場、ご兄弟の他の学校にかかわる問題が発生しましたら、十分大事をとって、積極的にお休みをさせていただきますよう、よろしくお願ひいたします。また、発熱等風症状のある時は、必ず医療にかかっていたり、独自の判断で登校させないようにしてください。

学習保障は担任と相談の上、状況に合わせて行ってまいりたいと思っております。

なにとぞ感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

